

エクステンド

中・四国でコンサル好調 岡山にサテライト設置

コンサルティンクを手掛けるエクステンド（東京都中央区）は、地域金融機関と連携し中国・四国地区での成約案件を伸ばしている。紹介から成約に至った案件は5年間で112件と、全体の約4割を占める。同社は、提携金融機関から紹介案件を取り込むことで、地域コンサルに力を入れてい

る。同地区では3月末時点で9機関と提携。契約した112件の内訳は事業再生42件、親族内承継29件、M&A（合併・買収）41件。地域経済では、経営者の高齢化や後継者不足が一層深刻な課題となっており、M&Aの案件が増加しているという。7月1日には、岡山市北区に中四国のエリ

ア店「岡山サテライト・オフィス」を設置。交通のハブである岡山に拠点を置き、地域金融機関との連携強化と案件の深掘りを図る。これまで同地区は大阪支社が担当してきたが、沖原厚則代表取締役は「その地に根を張るからこそ、得られる信頼や情報がある」と狙いを語る。年間30件以上の成約を目標に推

進を強化。取引規模の強やオフィスへの昇格拡大に応じて、人員増も視野に入れる。